

# 九州自治体情報システム協議会の事例

## 1 支援団体

### (1) 申込団体

九州自治体情報システム協議会（福岡県久留米市）

### (2) 参加団体（合計 27 団体）（地図は次ページ）

<福岡県> 久留米市・直方市・飯塚市・筑後市・行橋市・小郡市・筑紫野市・大野城市・  
うきは市・宮若市・遠賀町・川崎町

<長崎県> 大村市

<熊本県> 八代市・人吉市・荒尾市・苓北町

<大分県> 日田市・宇佐市

<宮崎県> 都城市・延岡市・日南市・三股町

<鹿児島県> 薩摩川内市・日置市・霧島市

<山口県> 田布施町

### (3) 依頼種別

短期（1日間）/ 講演

## 2 背景、課題等

- ・本協議会は、主に自治体における情報システムの事務改善を行うことを目指し、毎年数回の会議を開催している。先進事例の発表や行政が抱える問題についての研究会等を行い、会員相互の交流をはかっている。当初は4団体で行政事務の近代化に寄与することを目的とし、不定期に情報交換を行っていたが、この会合を担当者レベルまで広げ定期的を開催することとし、会則を定め、昭和50年に、「行政システム共同開発協議会」として発足した。平成23年に協議会名を「九州自治体情報システム協議会」と改名し、現在、九州山口各県の46自治体で構成している。今回、自治体クラウドについて興味を持っている会員が多いため、本年度の協議会での講演のテーマとして自治体クラウドを考えている。

## 3 内容

### (1) 支援内容

以下に係る講演を実施

- ア 周南市における自治体クラウド導入の背景
- イ 導入までの事前検討、導入について
- ウ 調達・選定から構築・稼働について
- エ 自治体クラウドのメリット、課題等について

### (2) 結果等

今後の自治体クラウドの検討を進めるための理解を深め、自治体クラウドの導入に向けての足がかりとなった。

## 4 今後の予定

- ・自治体クラウドを含めた情報システムに関する情報共有を進めていく。

